

SHIONOYA Satoru×OHBAYASHI Takeshi

VS

R e c i t a l S e r i e s

Vol. 3

2022.3.25 [金] 19:00 開演 東京芸術劇場コンサートホール

※休憩 15 分 ※ ZAIKO にて生配信のみ、アーカイブ配信なし

Program チック・コリア／ラ・フィエスタ

[演奏予定曲目]

Chick Corea: La Fiesta

ハロルド・アーレン／オーヴァー・ザ・レインボー

Harold Arlen: Over the Rainbow

ジェローム・カーン／オール・ザ・シングス・ユー・アー ほか

Jerome Kern: All the Things You Are

※演奏曲目は後日、公演 HP (右記 QR コード) にて公開いたします。

<https://www.geigeki.jp/performance/concert241/c241-3/>

公演 HP



Profile

塩谷 哲 (ピアノ)

SHIONOYA Satoru, Piano



東京藝術大学作曲科出身。在学中より10年に渡りオルケスタ・デ・ラ・ルスのピアニストとして活動(93年国連平和賞受賞、95年米グラミー賞ノミネート)。ソロアーティストとしても現在まで12枚のオリジナルアルバムを発表する。自身のグループの他、小曾根真(p)との共演、佐藤竹善(vo)との“SALT & SUGAR”や上妻宏光(三味線)との“AGA-SHIO”の活動、リチャード・ストルツマン(cla)、渡辺貞夫(sax)、村治佳織(g)、古澤巖(vln)ほか多数のコラボレート、Bunkamura オーチャードホール主催のコンサートシリーズ「COOL CLASSICS」(99年～01年)のプロデュース、オーケストラとの共演(2017年大阪交響楽団、2017、18年NHK交響楽団)等、活動のジャンル・形態は多岐に渡る。近年は絢香のサウンドプロデュースに参加。メディアではNHK「名曲アルバム」にオーケストラ・アレンジを提供する他、NHK Eテレ『趣味Do楽“塩谷哲のリズムでピアノ”』(2014年)、フジテレビ系ドラマ『無痛-診える眼-』(2015年)、現在はNHK Eテレ音楽パペットバラエティー番組『コレナンデ商会』(2016年～)の音楽を担当している。現在、国立音楽大学ジャズ専修准教授。

公式ホームページ

<https://www.earthbeat-salt.com>

大林武司 (ピアノ)

OHBAYASHI Takeshi, Piano



1987年広島県出身。

東京音楽大学作曲科在学中にジャズに傾倒し留学を決意、最高額の奨学金を受給してパークリー音楽院に入学し、グラミー賞受賞アーティストTerri Lyne Carringtonのバンドに加入しプロ活動を開始。

卒業後はニューヨークに拠点を移し、自己のバンドを率いてBlue Note NYC, Jazz At Lincoln Center, Small'sなどの主要ジャズクラブに出演しながら、Takuya Kuroda, Jose James, Terri Lyne Carrington, Nate Smithなどの世界的ミュージシャンのバンドの中核を担い、これまでに世界30ヵ国以上のジャズクラブやフェスティバルに出演。

2016年にはJacksonville Jazz Piano Competitionにおいて、日本人初優勝を飾る。

日本においても東京JAZZ、フジロック、サマーソニックなどの主要フェスティバルに数多く出演しながら、テレビ朝日「報道ステーション」へJ-Squadの一員として楽曲提供、コロナ禍により一時帰国している2021年にはMISIAのバンドマスターを担うなどその活動は多岐にわたる。

塩谷哲と大林武司の共演によせて

菅野聖（構成作家/ライター）

塩谷哲と大林武司の共通点はピアニスト、作・編曲家であるということ。いずれもオープン・マインドでジャンルレスに音楽活動を行い、フィールドはワールドワイドだ。彼らのプロフィールを見れば一目瞭然の事実である。しかし、“手の形”が酷似していることをご存知の方は余りいないのではないか。なにせ、彼らもつい最近気が付いたばかりなのだから。小振りの手をお互い広げたその時、大林は「あっ、そっくり」と目を丸くし、塩谷も「似ているねえ」と笑った。大きさもほぼ一緒、けれども血の繋がりはない。

1966年生まれ、東京出身の塩谷哲と1987年生まれ、広島出身の大林武司のファースト・コンタクトは2007年。渡米留学を直前に控えていた大林が、小曽根真と塩谷哲のデュオ・コンサートを鑑賞し、感極りながらサイン会に並んだのがきっかけである。挨拶をした大林に激励の言葉を掛けた塩谷は15年前のひとりの青年を

その後も忘れずにいた。

塩谷「どこかギラギラした只ならぬ気配があったんですよ(笑)。その2年後にジャズ・フェスで初めて大林さんの素晴らしい演奏を耳にし、以来、リスペクトしています」

大林「デビュー前の全く無名だった19歳の僕を塩谷さんが覚えていてくれただけで有難いのにまさかの再会。そして今、こうして共演するチャンスが巡って来たのですから本当に感無量です。なんたって塩谷さんは格好いいミュージシャンのアイコンですから!」

塩谷「僕の方こそ大林さんと共演してフレッシュな感覚を吸収したかった。“君はそう来たの?だったら僕はこうしよう”と触発し合いながら即興的に音楽を創っていく。つまり、ヴァースというのは決して戦いではありません。違う何かがあつたことで新しい何か生まれることなんです。これが楽しい!」

とはいえ、クリエイティブなモノが生ま

れるためにはヴァースの相手も重要である。国立音楽大学ジャズ専修准教授として若手ミュージシャンの育成にも力を注いでいる塩谷哲のお眼鏡にかなった相手、それが大林武司なのだ。

大林「ピアノ2台、ピアニストがふたりという編成はとても可能性に溢れたセッティングで、白鍵と黒鍵から成る楽器を生かし、2馬力でどこまで表現出来るか、その世界に僕自身も凄く期待しています」

憧れの先輩を前にして頬を紅潮させながら喜びと意欲を口にする大林は、ニューヨークを拠点に自己名義で大活躍している他、多くの著名なジャズ・ミュージシャンにラブ・コールを送られ、数々のステージや録音に足跡を刻んでいる35歳。日本でもMISIAのバンド・マスターとして手腕を発揮、ジャズを軸に今の音楽シーンを牽引している存在といっても過言ではない彼が、自身のヒーローに本番でどんなアプローチをするのか、片や、1980年代から世界中の音楽ファンを魅了し続けている音楽家の塩谷が後輩にどんなサインを送るのか、想像するだけで胸が高鳴るではないか。

演奏曲の中には、2021年2月に79歳で他界したジャズ・ピアニストでマエスト

ロ、チック・コリアの人気曲《ラ・フィエスタ》や、1939年公開のミュージカル映画『オズの魔法使』でジュディ・ガーランドが歌い、以降、多くのミュージシャンにカバーされている《オーヴァー・ザ・レインボー》、そして、ニューヨーク出身、アメリカが生んだ偉大なる作曲家、ジェローム・カーンが書いた《オール・ザ・シングス・ユー・アー》など、耳馴染みのあるスタンダード曲も予定されている他、ふたりのオリジナル曲も披露する。

大林「お客さまの中には初めて聴く曲もあるかもしれませんが、新しいフェイヴァリット・ソングに出逢える機会になっていたけると確信しています。ふたりで音楽を生み出す瞬間を存分に堪能してください」

その言葉に大きく頷いた塩谷はこんなひと言を添えた。

塩谷「コンサートホールというのは、日によって響きが変わります。当日の天気は勿論、お越しいただいたお客さまのお召し物によっても違って来るんですよ」

なるほど、会場に居るひとりひとりが音楽の一部になる。ヴァースというのは塩谷哲と大林武司だけを指しているのではない。舞台と客席のヴァース、これもまた一期一会。



STEINWAY & SONS



「スタインウェイ & サンズ 東京」 移転オープン 1周年

スタインウェイ & サンズ東京はスタインウェイ・ジャパン株式会社の直営店です

スタインウェイ & サンズ 東京
港区北青山3-4-3 のあおやま1F
TEL 03-6721-1618 営業時間:11:00~19:00
www.steinway.co.jp / SST



リサイタル・シリーズ

VS

Vol.4 山中千尋×妹尾武

ジャンルの垣根を超えて紡がれる 2台ピアノの世界

世界を駆ける人気ジャズ・ピアニスト、山中千尋が「VS」シリーズに待望の登場! 大好評だった2016年「N響JAZZ at 芸劇」以来の出演となる。山中と共演するのは、ピアニスト、作曲家として幅広く活躍する妹尾武。妹尾は谷村新司、松任谷由実、三浦大知ら、ポピュラー界の大物たちとの共演、古川展生(チェロ)と藤原道山(尺八)とのユニット「KOBUDO-古武道-」の活動や、作曲家としてドラマや映画音楽、ゴスペラーズなどへの楽曲提供など、マルチに活躍するアーティストだ。

ふたりは桐朋学園大学でともに研鑽を積んだ学友であるからこそ、互いのことをよく理解し、それぞれの個性が光る楽曲に臨む。ジャズにとどまらない、ポップス、クラシック音楽などの垣根を超えて紡がれる2台ピアノの宇宙に期待が膨らむ。

PROGRAM

ガーシュウィン/ラプソディ・イン・ブルー
ラフマニノフ/「交響曲第2番」より 第3楽章
八木節 ほか

今後の予定

Vol.5 阪田知樹×高木竜馬 2022年11月10日[木]



©Hibiki Takiwa

発売日

芸劇メンバーズ先行: 3.26[土]~4.1[金]

一般発売: 4.2[土]~

6.3[金] 19:00 開演 (18:00 ロビー開場)

東京芸術劇場 コンサートホール

全席指定(税込) ¥5,000/高校生以下¥1,000

※高校生以下チケットは、東京芸術劇場ボックスオフィスのみ
取り扱い(枚数限定・要証明書)。



東京芸術劇場 HP
<https://www.geigeki.jp>

東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296 (休館日を除く 10:00~19:00)